

# 学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

学年 2 教科・領域 生活 単元・題材等 自分の成長

単元・題材等の目標 自分の成長に関心をもち、振り返ることを通して、自分が成長してきたことやその背景には多くの人の支えがあったことに気付くとともに、成長を支えてくれた人に感謝し、意欲的に未来に向かって生活しようとする。

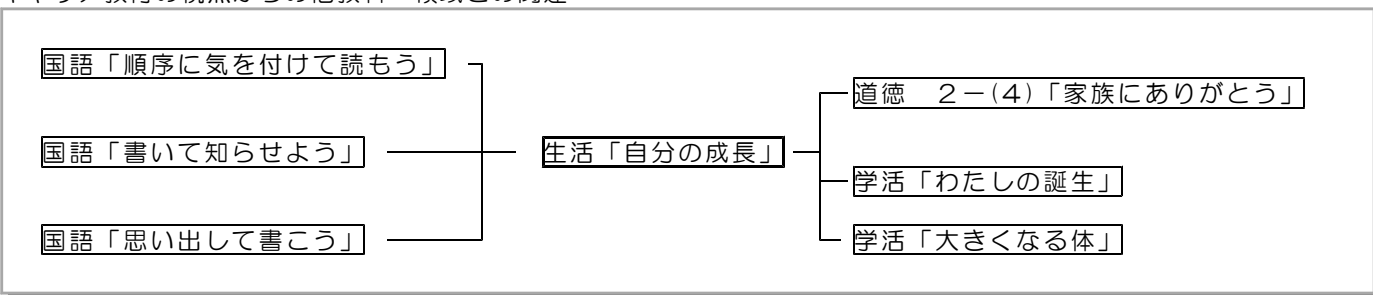
○活用できる学校外の人材と内容等

**保護者や家族**  
\*自分の小さい頃の様子や成長の過程について話をしてもらったり、インタビューに答えてもらったりする。

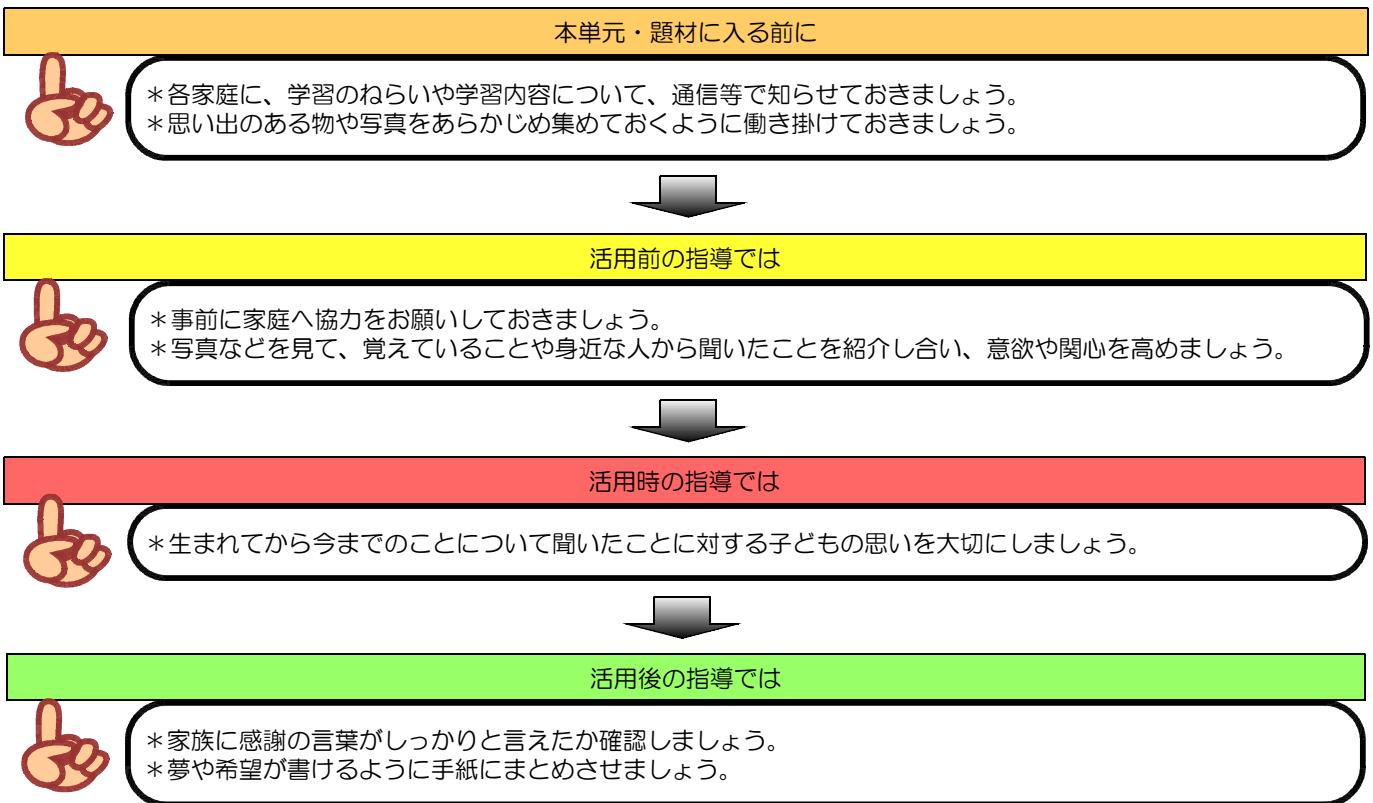
○キャリア教育の視点から本単元・題材等で育成することが期待される能力・態度  
\*太字は、学校外の人材活用により育成が期待できる能力・態度

- ・自分の成長を支えてくれた人に気づき、感謝する。 **【自他の理解能力】**
- ・自分の成長の様子を身近な人にインタビューする。 **【コミュニケーション能力】**
- ・自分の成長を支えてくれた人に感謝の言葉を言う。 **【コミュニケーション能力】**
- ・自分の成長を振り返り、未来に向かって夢や希望をもつ。 **【計画実行能力】**
- ・身の回りのことなど、自分のことは自分で行おうとする。 **【課題解決能力】**

○キャリア教育の視点からの他教科・領域との関連



○学校外の人材を活用するポイント



○学校外の人材を活用する指導の流れ

活用前の指導	
①小さい頃のことを調べよう ◆乳幼児の頃に使っていた物や写真を持ち寄って話し合う。 ◆現在までの自分の様子を身近な人にインタビューなどして調べる。	
学習活動	指導上の配慮事項
●小さい頃のことや、覚えていることや身近な人から聞いていることなどを話し合う。 【自他の理解能力】 病気がなったことがあって、家の人が寝ずに看病してくれたことがありました。 ●持ち寄った写真や物を見せながら、紹介し合う。 【自他の理解能力】	○小さい頃の出来事、かかわりのあった人、お世話になった人などを思い起こさせながら、多くの人とのかかわりに気付かせる。 その時の家の人の様子はどうだったですか？ ○物や写真に込められた思い出や成長とのかかわりに気付かせるようにする。

評価の観点 ・自分の成長を支えてきたくれた人に気付くことができる。

活用時の指導	
学習活動	指導上の配慮事項
●自分が覚えていない小さい頃のことや、知りたいことや聞いてみたいことについて話し合う。 ●身近な人にインタビューを行い、聞いてきたことや感じたことを紹介し合う。 【コミュニケーション能力】【自他の理解能力】 ぼくが生まれて、本当に嬉しかったんだよ。 わたしが生まれたときには、親戚中が集まったそうよ。	○話し合う中で、聞いてくることを絞らせる。 家の人に聞いてみたいことを考えましょう。 ○実際のインタビューは家庭に帰ってから行わせる。 ○インタビューの答えだけでなく、それを聞いて感じたことも大切にさせる。 ○自分の成長には、今まで多くの人のかかわりや支えがあったことに気付かせるようにする。 今までの自分の成長には多くの人のかかわりがあったんですね。

評価の観点 ・自分の成長の様子を身近な人にインタビューなどして調べることができる。  
・自分の成長を支えてくれた人に感謝し、お礼が言える。

活用後の指導	
②「自分ものがたり」を作ろう ◆成長過程での出来事や支えてくれた人々のことなど工夫して表現する。 ◆これまでの写真や作品を持ち合い、これまでの自分を発表し合う。 ③3年生になる期待や抱負を話し合おう ◆3年生になる期待や抱負について話し合ったり、未来の夢や希望を考えたりする。	
学習活動	指導上の配慮事項
●今までの自分について調べたことを整理し、自分の歩みについてまとめた「自分ものがたり」を作る。 【課題解決能力】 ●できあがった「自分ものがたり」を友達と紹介し合ったり、家の人に見せたりして、感謝の気持ちを伝える。 【コミュニケーション能力】 ●3年生になる期待や抱負、今の夢や希望を手紙にまとめる。 【計画実行能力】	○自分で集めた物や写真、調べたことやインタビューをして聞いたことなどを材料にしてまとめさせる。 ○お互いの作品のよさに気付かせたり、家に持ち帰らせて自分の成長を支えてくれた人に見せ、話をさせたりする。 まとめてみての感想や感謝の気持ちが言えるといいですね。 ○家の人からの手紙（感想）などがもらえるといい。 ○これまでの成長をふまえ、これから頑張りたいことややっていきたいことにつなげていく。

評価の観点 ・「自分ものがたり」を家の人に見せ、感謝の気持ちを伝えることができる。  
・これから頑張りたいことや夢や希望が書ける。